

会 議 録

会 議 の 名 称	平成23年度 第1回公民館運営審議会
開 催 日 時	平成23年7月28日(木) 午前10時00分～午前11時30分
開 催 場 所	所沢市役所低層棟3階全員協議会室
出 席 者 の 氏 名	高橋等、都築政則、中村龍太郎、北田有司、荻野求、内野幸雄、山下善郎、越阪部芳加、大澤義雄、本橋賢一、梁瀬正明、小笠原幹郎、佐藤一子、倉持伸江
欠 席 者 の 氏 名	大島春彦
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 正副委員長の選出 (2) 公民館運営審議会の今後の日程について (3) その他 報告事項
会 議 資 料	会議次第 所沢市公民館運営審議会委員名簿 所沢市の会議の公開に関する指針 公民館運営審議会の今後日程について 「所沢市まちづくりセンター条例」などまちづくりセンターに関する資料 (報告資料1、1-2、1-3) 「所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則」など公民館に関する資料 (報告資料2) 「『地域活動の拠点』となる公民館の運営体制について」答申 平成23年度 公民館事業計画 平成23年度 公民館事業の指標

担 当 部 課 名	<p>教育長・佐藤徳一、教育総務部長・山嵯裕司、中央公民館長・木下哲、 新所沢公民館長・山崎六郎、新所沢東公民館長・村山金悟、 吾妻公民館長・大野正和、山口公民館長・黒田信幸、 並木公民館長・糟谷実、富岡公民館長・長谷川和也、 柳瀬公民館長・増田和彦、松井公民館長・森田清美、 小手指公民館長・大沢賢、三ヶ島公民館長・高橋美代子</p> <p>教育総務部社会教育課 則武辰夫参事、浅野浩一主幹、鈴木和之主任</p> <p>電話 04 (2998) 9242</p>
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
教育長	<p>参事兼社会教育課長の司会により開会し、出席した14名の公民館運営審議会委員に教育長が委嘱状を交付した。</p> <p>本日は、平成23年度第1回公民館運営審議会にお忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。委員の任期は、委嘱の日から2年間であり、長いようで短い期間であります。この期間を通じていろいろなご審議をいただくこととなりますが、どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>所沢市では、平成23年4月1日よりまちづくりセンターが、11行政区でスタートいたしました。長い歴史を持つ公民館機能と出張所機能を統合し、さらにコミュニティ推進機能を付加した新しい組織ですが、まだ試行錯誤の段階であり、すぐに組織の目的とするところを達成できているわけではありません。</p> <p>この公民館運営審議会を通じ、委員の方お一人お一人の力をお借りしながら、多岐にわたってご審議いただき、ご意見をいただくと公民館機能を維持し、更なる機能を増加させることによって、公民館だけでなくまちづくりセンターとしてもより良いものができ、地域住民の方に喜ばれる組織となると思いますので、よろしく申し上げます。</p>
(自己紹介)	<p>公民館運営審議会委員及び教育委員会職員が自己紹介を行い、配布資料の確認を行った後、協議に入った。</p> <p>改選後、最初の会議のため、まず佐藤教育長が進行を務めた。</p> <p>(1) 委員長・副委員長の選出について</p>
教育長	<p>委員長・副委員長につきましては、所沢市公民館設置及び管理条例施行規則第7条により委員の互選により委員長1名、副委員長1名を置くことになっております。委員からご推薦をいただきたいと思っております。どなたかご推薦いただけますでしょうか。</p>
委員	<p>委員長には、昨年度まで当審議会の副委員長として活躍され、公民館における経験や知識が豊富な内野委員にお願いできればと思います。</p>
教育長	<p>今、委員長に内野委員のご推薦をいただきましたが、皆さんいかがでしょうか。</p>

<p>教育長</p>	<p>拍手をもって一同了承した。</p> <p>次に、副委員長ですが、同じようにご推薦をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>副委員長には、これまで研究者の立場から貴重なご意見をいただき、現在も大学で指導に当たっている佐藤委員にお願いできればと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>副委員長に、佐藤委員をご推薦いただきましたが、いかがでしょうか。</p> <p>拍手をもって一同了承した。</p>
<p>(正副委員長あいさつ)</p>	<p>新委員長、新副委員長から一言あいさつをいただいた。</p> <p>今後の会議運営について、事務局より説明を行った。</p>
<p>事務局</p>	<p>議事に入る前に本市では、審議会の運営について、①会議の公開・非公開について、②会議録の記録方式について、③会議録の署名、確定について定めることとなっていますので、協議をお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>今回の議題は、非公開の基準に該当しないと思いますので、「会議は公開」で行いたいと思いますが、いかがでしょうか。(他の委員から特に意見なし)</p> <p>では、本審議会については、「原則公開」とし、会議録の記録方式は要約方式に、会議録の確定については委員長が署名確認すると、させていただきます。</p>
<p>(書記の任命)</p>	<p>本審議会の書記として、社会教育課の鈴木主任を任命したい。</p> <p>(2) 公民館運営審議会の今後の日程について</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、ここから議事の2つ目に入ります。公民館運営審議会の今後の日程について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>本会議は定例会としましては年3回の開催を予定しています。本日が、第1回ですが、今後の日程は、第2回を11月、第3回を2月に、24年度に入りまして、通算でいきますと第4回を24年7月、第5回を11月、第6回を2</p>

<p>委員長</p>	<p>5年2月に予定しています。</p> <p>今後の日程について、何か質問はありますか。</p> <p>委員さんから質問がないようですので、私からよろしいでしょうか。公民館運営審議会に対する諮問、それに対する答申に関してのスケジュール案はありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>新しい委員さんも入られましたので、すぐに諮問することは考えておりませんが、皆さんと情報交換をしながら、また新しい組織の体制を見ながら、第2回若しくは第3回目で諮問をさせていただければと考えています。</p>
<p>委員長</p>	<p>諮問、答申の質問に関連して、専門部会の設置は検討していますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>前回の諮問に関して、専門部会が大変効果的に作用したことを考えますと、今回の諮問に対しても必要に応じて専門部会の設置を検討したいと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>先程、事務局から情報交換という言葉がでました。本日は各地区から選出された委員さんがいらっしゃっています。今後の審議会の進め方や諮問内容の参考にもなるかと思っておりますので、それぞれ各地区の公民館活動の様子や課題など、少しお話をさせていただけますでしょうか。</p> <p>きっかけをつくる意味で、去年の専門部会の時にいろいろと興味深い情報を提供いただいた小手指公民館や山口公民館の状況などをお話いただければと思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>5月29日の小手指公民館企画委員会の総会の時に、公民館事業の見直しについての話があり、その中で「子育て事業」を縮小するというような案も出されました。しかし、これについては、その事業の重要性に鑑みこれまでと同様に続けていくように意見いたしました。事業継続は大変なことだとは思いますが、職員と協力会などが支えあって頑張っていきたいと思っております。</p> <p>また、地域コミュニティの推進については、身近なことから取り組んでいくのが大切ではないでしょうか。地域が一体となって進めていきたいと考えております。</p>
<p>小手指公民館長</p>	<p>まちづくりセンターになったことで、地域コミュニティを推進するような事業が拡大していくことが予想されています。反面、人員不足等で公民館のこれ</p>

<p>委員</p>	<p>までの事業については、整理・統合等を検討せざるを得ない状況となっております。</p> <p>私の山口地区では、他の地区でも同様であると思いますが、公民館の事業や運営に携わってくれる若い世代の育成についてどうしていくのが課題となっております。ただ、山口公民館の運営協議会にはPTA会長が会員となっていたり、他の地区と比べて若い世代が多いのではないかと考えています。私自身もまだまだ若手であると考えていますが、私一人ではなにも出来ません。私と同年代の人を、今後どう公民館活動に取り込んでいくのが、やはり課題であると思います。</p> <p>私自身、去年の公民館運営審議会の専門部会に参加させていただいた時の熱が冷めてきている面もあります。公民館運営審議会に出席しながら、徐々に勘を取り戻していきたいと思っています。</p>
<p>山口公民館長</p>	<p>公民館事業については、人的不足が理由の中心ですが、事業の見直しをせざるを得ないと思っています。今日現在でも、例年と比べて事業は縮小しています。事業内容についての課題としては、山口公民館の事業は年齢が高い層への事業が多彩な反面、若い世代向けの事業が少ないことがあげられます。事業を選定しなければならない今日、いろいろな年代へ向けた事業を行っていきたいと思っています。最終的には、若い世代を公民館事業へ取り込んでいくのが目的です。</p>
<p>委員長</p>	<p>他の館の方で、何か話をさせていただくことはありますか。（特になし）</p> <p>今回お二人の専門の先生が入っているので、ご専門の立場から何かご意見、ご感想をお願いできますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今、2つの館のお話を聞いて、まちづくりセンターになったことで少なからず、公民館活動に影響が出ているなと感じました。</p> <p>前年度の専門部会でも公民館とまちづくりセンターとの関係についていろいろと議論してきたわけですが、既に地域の拠点として公民館が活用されているところは、この機能が失われてしまうという危惧がありました。反面、まちづくりセンターが出来ることで、住民の手によって新しいネットワークや自治が生み出されていくのではないかという期待もありました。</p> <p>今年度の公民館運営審議会では、まちづくりセンターが実際にスタートして、これらがどのように変化するかを注視したいと思います。</p> <p>また、先ほど発言いただいた公民館長からは「公民館事業の整理」という言</p>

<p>副委員長</p>	<p>葉が出てきました。私としては、「やはり」という気持ちで聞いていました。今後の公民館事業については、これまで実施してきたものを安易に中止するわけではないでしょうが、何も検討せず続けていくことも難しいのだろうと思います。この辺のところも、今期の公民館運営審議会では議論のポイントになるのかと考えています。</p> <p>全国的な状況として、公民館活動は過渡期にきています。また、東日本大震災によって、地域の絆を大切であると感じたり、日常的な繋がりを求める人が増加するといったような住民意識に変化が生まれました。</p> <p>これまで所沢市は、ベッドタウンとして発展してきた経緯もあり、地域活動を重視する住民が少なかったように思います。埼玉都民という言葉もありますが、余り地域には目を向けてこなかったのではないかと思います。このような意識が、この震災の影響で変わりつつあるのではないのでしょうか。</p> <p>このような状況を加味すると、まちづくりセンターの発足が地域コミュニティを望みだした住民意識とシンクロして、非常にタイムリーに組織再編が行われるのだという期待もできます。反面、名前が変わったことにより、公民館が消えてしまったようなイメージを持つ市民も少なくないと思います。</p> <p>今年度の審議会では、公民館にとってまちづくりセンターの一部として再編されたことの可能性と公民館という名前が全面に出てこなくなってしまうという危惧される面を見出していければと思います。</p> <p>公民館の事業に関しては、社会教育学の中の「地域づくり学習」という分野がここ10年ほど活発に議論されています。私が関わっている「かつしか（葛飾）学」という葛飾区民大学の授業は大変人気があります。</p> <p>まちづくりセンターになったこともあり、改めて所沢市の地域の課題、地域の魅力、地域の繋がりを考えあうような学習活動を発展させていく契機ともなるのかなと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>今年から委員になったこともあり、これまでの館長や先生方のお話を聞いていても、まちづくりセンターと公民館の関係性が余り見えてきません。一般住民の感覚として、両者の区別がきちんと伝わっていないように感じます。</p> <p>まちづくりセンターができて、公民館の位置づけはどうなったのか、公民館はなくなってしまったのか、この辺をはっきりさせていかないと地域に住んでいる人を巻き込んだ活動は難しいのではないのかと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>次の報告事項の中で、まちづくりセンターについて説明があると思いますので、その説明を聞いてなお質問があるようであれば、再度ご意見をお願いします。</p>

事務局	<p>す。</p> <p>いろいろな話題が出てきましたが、議題2に関連した今後の公民館運営審議会の進め方について事務局から何かありますか。</p> <p>会議の回数が限られておりますが、随時、課題を整理し、その時々 of 旬な話題も取り入れながら、効果的に会議を進めていきたいと考えております。</p>
委員長	<p>今、話のあった事務局の方針でよろしいでしょうか。</p> <p>異議がないようですので、この辺で議事は終了とします。</p> <p>(3) 報告事項</p>
委員長	<p>次に報告事項をお願いします。</p>
事務局	<p>まちづくりセンターの開設について事務局から報告させていただきます。</p> <p>はじめに報告資料1「まちづくりセンター条例」について説明。</p> <p>次に報告資料1-2「所沢市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則」及び報告資料1-3「教育委員会からの補助執行業務関係」について説明。</p> <p>「補助執行業務関係」については、公民館のすべての業務が市民経済部へ補助執行されるのではなく、公民館の重点施策の策定、公民館運営審議会の開催など、「公民館の総括」に関する業務は、引き続き社会教育課で行うことについて説明。</p> <p>続いて、昨年度いただいた答申がどのようにまちづくりセンターと関係してくるのかについて参事から報告します。</p>
参事	<p>昨年度の答申は、正にまちづくりセンターが組織されてくる渦中での作業であり、「新たな時代変化のもとで公民館が停滞することなくいっそう地域の活動拠点として役割を果たす公民館のあり方を追究するために論議され（答申文）」まとめていただいたものです。</p> <p>このような状況下でまとめていただいた答申ですが、具体的に現在の体制に反映されているのは公民館職員に関する部分です。</p> <p>「公民館職員が地域団体との関係を深めたり、地域をネットワーク化したりするためには、会議をすすめる力、組織を運営する力が必要である。また、地域活動の相談に乗ったり、団体間をコーディネートする力も必要になってくる。公民館にこうした専門的な職員の配置は重要であり、各館に計画的に社会</p>

<p>中央公民館長</p>	<p>教育主事を配置することが望ましいと思われる。（同）」</p> <p>といった答申の要請に基づき、本年度は従来から発令していた5名に加え、新たに2名に対し社会教育主事を発令いたしました。このことにより、全11館中7館に社会教育主事を配置できております。また、全公民館長には教育委員会から館長の発令をしています。</p> <p>次にまちづくりセンターの開設後の今年度の公民館の状況について、3館の館長から報告いたします。</p> <p>中央公民館は、座席数350を有する大きく、高度な機器を兼ね備えたホールがあることが特徴的な公民館です。「みんなでつくるホール」のもと、市民ボランティア・シアターサポと協力しながらホール事業を展開しています。昨年度のホール稼働率は80パーセントにもなっております。</p> <p>まちづくりセンターになってからは、公民館グループだけでなく、窓口グループ、コミュニティ推進グループと共通認識、情報の共有化を図るべく、活発に全体会議を開くようになりました。</p>
<p>並木公民館長</p>	<p>並木地区は、市役所に近いためこれまで窓口業務がありませんでした。まちづくりセンターになってもこの機能が付加されないため、高齢化している地域住民の方からは、並木にも窓口業務をつくってくれという要望が多く寄せられています。</p> <p>次に、公民館事業についての意識変化について申し上げます。例えば、これまでは地域コミュニティなどへの住民参加は、住民の自由意志に委ねられていた部分がありますが、まちづくりセンターの設立目的としてはこれを促し・支援するような役割を担うとされています。この4月以降は、事業を受講した住民が地域コミュニティの担い手に繋がるような事業を起す必要性を感じています。</p> <p>最後に、まちづくりセンターになって一番感じているのは人的不足です。まちづくりセンターになって以降、並木まちづくりセンターで新たに行うことになった業務は多大であります。それに対して人員が全然足りていません。職員の中には、再任用職員もいるため、センターで全員が顔を合わせるの、週に1回だけで、センターとしての情報の共有化も難しい現状です。</p>
<p>吾妻公民館長</p>	<p>まちづくりセンターに変わっても、住民の方は、その変化や組織の設置目的を意識していないように感じます。職員の立場としては、一つのセンターになったのだから、各グループの仕事に関して相互に研修を実施し、組織が一日も早く一体化するように努めています。ただ、正直なところ公民館業務としては、</p>

	<p>グループとして一人減となっていることから、苦しい対応を迫られています。</p> <p>最後にコミュニティ推進活動に関しては、これから組織として目指す設計図が出てくると思っています。公民館グループとしては、この青写真が出てきた時に、どのようにして公民館利用者やサークルを巻き込んでいったらいいのか、暗中模索しているという段階です。</p>
委員長	<p>ここは報告事項ということですが、今の説明を聞いて、何か質問や意見などありますでしょうか。</p>
委員	<p>名前はどうか、組織の目標を達成して欲しいと思っています。言葉だけが先行するのではなく、その実質を重視していただきたいです。</p> <p>公民館に来る市民は、文化活動を自主的に行いたいという目的で来る方がほとんどであると思います。新しい組織になり、新たな組織目標が設定された以上、これまでより進歩的な行政活動を期待しています。</p>
新所沢公民館長	<p>新所沢地区ではこれまで、出張所と公民館が別々の建物であったという歴史があります。昨年11月に、複合施設が完成してようやく一つの建物になりました。地域活動は出張所、文化活動は公民館という縦割な部分が、まちづくりセンターの名のもとに一つの組織となり、地域に発信できることをプラスに捉えています。当然その前提として、一丸となって目的を達成するという、職員の意識改革が必要であると思っています。</p> <p>公民館として地域とより向き合っていくという取組の一環として、今年度は地区文化祭について見直していきたいと思っております。今までは、地区文化祭を名乗りながら、実質はその運用を公民館利用者団体をお願いしていた側面があります。今年度は、正に地域が一体となった文化祭を行っていききたいということで、自治会やPTA、育成会等の人にもお声掛けをして、協力をお願いしていくつもりです。この動きが、地域コミュニティ推進の一助になればと思っています。</p>
委員長	<p>この項目は終了とし、報告事項（2）「施行規則の改正について」の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局より報告資料2をもとに所沢市公民館設置及び管理条例施行規則改正について説明。</p>
委員長	<p>何か質問はありますか。</p>

事務局	<p>質問がないようですので、この辺で報告事項は終了とします。議事と報告事項が終わりましたので、進行を事務局に戻します。</p> <p>委員長さんには議事進行ありがとうございました。 最後に閉会のあいさつを 佐藤副委員長にお願いします。</p>
副委員長	<p>委員長さんのスムーズな司会進行によって、時間内に審議を終了することができました。本日は各地域の現状を聞いておりました、公民館利用者の現在の意識を的確に把握すること、今まで公民館として余り関わりの無かった自治会などの組織とどのように連携していくのかということ、また、公民館の基本精神である自由な学習活動を拡充・発展させながら、まちづくりセンターの目的も達成していくこと、など幾つか課題が浮き彫りとなったような気がします。</p> <p>今年度の公民館運営審議会では、この辺のところを皆さんと十分と議論することが大切なのかなと思います。</p> <p>本日は、どうもありがとうございました。</p> <p>閉 会 以上で終了</p>